

## 九州女子大学・九州女子短期大学 中期計画（6ヶ年）〔平成23年度版〕

（期間：平成20年度～平成25年度）

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
学生確保	入学者選抜方法の充実	求める学生像が分かり易く、魅力ある大学であることが積極的にアピールされている入試であること	入学者受入れ方針の明確化	<b>平成22年度に計画達成</b> ・大学・学部レベルのアドミッションポリシーの明確化及び周知
			入学者選抜方法の充実	・学生募集における教員の高校への密接な対応
教育活動	教育・研究内容と方法の充実	学習意欲を喚起させ学習の成果が社会に貢献することを保証する教育であること	学生の質の確保	・成績評価法、成績評価基準の明確化及び周知 ・入学前学習のサポート ・キャリア教育の充実と教養教育の充実教養科目の組織的な再編成
		授業内容が、目標を達成するための基礎となる「研究活動の成果」を反映していること	授業改善の支援体制の整備	・FD推進委員会の効果的運用 ・教室内設備機器の更新
			教育組織の充実	・大学・学部については、人材育成ニーズに応じて定期的に点検、評価し、専攻及び学科の見直し等を行う
学生支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートが充実していること	相談・助言体制の整備	・総合相談窓口「九女ルーム」の活用 ・生活面のマナー指導強化
			経済支援の一層の拡充	・同窓会による支援事業の拡充の要請
			学生ニーズの組織的な聴取 ボランティア活動のサポート体制	・学生満足度アンケートの実施 <b>平成22年度に計画達成</b> ・周辺地域の小学校へのボランティア活動
キャリア支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートが充実していること	就職活動支援の充実	・企業等に対する人材アンケート調査の実施 ・雇用主による卒業生の実績評価 ・免許、資格支援体制の強化
研究推進	教育・研究内容と方法の充実	研究活動の点検・評価を行い、競争的資金への応募や共同研究等を積極的に推進し、外部資金の獲得、地域社会との研究活動の連携強化及び支援体制の構築を目指す	社会的ニーズへの対応	・認証評価及び相互評価の実施 ・評価内容の向上、改善に直接的に結びつけるシステムの整備
			授業改善の支援体制の整備	業務・事業名を変更して教育活動に移動して実施
		研究活動の促進	・競争的研究資金(科研費等)への応募の義務化や共同研究の積極的な推進 ・地域社会との研究活動の連携強化及び支援体制の整備 ・優れた研究活動に対する報奨制度の制定	
国際化	国際化への対応	世界各国との交流が活発であること	協定校との交流拡充	・留学生支援体制の充実 ・学生及び教員の相互交流推進
教職員	事務等の効率化・合理化	教育研究支援のための事務体制が構築されていること	事務組織の機能・編成の見直し	・職員のより必要性の高い分野への配置や事務組織の活性化等により、事務機の高度化を図る
	人事の適正化	教職員の採用・昇任の方針が明確に示され、かつ適切に運用されていること	教員の人事評価	・教員の人事評価を継続実施し、評価内容の点検、見直しにより、人事評価制度の確立を図る
		評価結果が教育研究に反映されていること	教員の昇任基準の明確化	<b>平成22年度に計画達成</b> ・大学における教員の昇任基準の平準化を図る
		職員の資質向上のための取組みがなされていること	事務職員等の人事評価	・事務職員等の人事評価を継続実施し、評価内容の点検、見直しにより、人事評価制度の確立を図る
		評価結果の活用	<b>平成22年度に計画達成</b> ・評価結果は、給与等でのインセンティブ付与や任期付き教員の再審査の基本的項目の一つとして、審査に反映させる等の仕組みを設ける	
		事務職員等の人事制度	・事務職員等の資質向上のため、階層的研修を含め、研修の充実を図り、大学運営の中核を担い得る事務職員等を育成するための人事システムを構築する	
管理運営	管理運営の改善及び効率化	管理運営体制が整備されており、適切に機能していること	効果的・機動的な運営	・各種委員会については、全学的な意志決定を効果的、機動的に行える体制を整備する観点から、各種委員会の見直し、再編を行う ・事務情報化を推進するとともに、設置大学内の一元化を図る
		管理部門と教学部門の連携が適切になされていること	教員・事務職員等による一体的な運営	・各種委員会に事務職員等が参画し、一体的な運営を図る
	社会的責務	財務情報の公開が適切な方法でなされていること	情報公開等の推進	<b>平成22年度に計画達成</b> ・財務内容の状況に関する情報を積極的に社会に提供する
		危機管理の体制が整備され、かつ適切に機能していること	危機管理体制の整備	・学園の危機管理に関し、必要な体制を整備する

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
財務	財務内容の改善	財務内容の改善が図られていること	経費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、研究の充実を図りつつ、効率的な大学運営の仕組みを構築し、管理運営経費の抑制を図る</li> <li>・中期財政計画に基づき年度計画を達成する</li> </ul>
			資産の運用管理	
教育研究環境	教育研究環境の整備・充実	図書館機能が充実し利用者サービスの向上が図られていること	附属図書館の整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と連携して学生の学習を支援するとともに、館内設備の充実を図る</li> <li>・施設設備や情報基盤等の教育環境を整備充実する</li> </ul>
		必要なキャンパスが整備され、適切に維持、運営されていること	計画的な施設整備と既存施設設備の有効活用	
地域貢献	地域社会発展への貢献	地域の高等教育機関・地域交流の場として機能する	地域の生涯学習機会の充実（大学施設の開放等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座プログラムの拡充</li> <li>・行政、地域団体との連携強化</li> <li>・ボランティア活動支援強化及び主催事業の推進</li> <li>・「生涯学習研究センター人材バンク」の整備と拡充</li> </ul>
		大学の教育研究成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制が整備されていること	情報公開等の推進	